

サブフィルターを活用しよう!! **EHEIM** sub-filter

サブフィルター2213編(ディスカス、アフリカンシクリッド)



弱酸性水を好むディスカスでの使用例

残餌や排泄物が発見しやすく、しかも各個体の美しさが楽しめるようにベアタンクです。フィルターはサブ、メインともに2213です。サブフィルターにはエーハイメックを主用し、中心部分にエーハイトーフ(ピート)をネットに入れてセットしました。エーハイメックに当たった水流は多方向に流れ、ピート入りのネットに多角的に接触してエキスの抽出を促進します。その結果、水槽セット後に短期間で弱酸性、軟水のコなれた水が得られ、ディスカス投入後も調子を落とすことなく、元気な姿、美しい発色を見せてくれています。さらにサブフィルターを設置することでメインフィルターの汚れが抑えられるため、メインフィルターのメンテナンスのインターバルが長くなります。これにより、メインフィルターのろ過バクテリアに与えるダメージを最小限に抑えることができ、メインフィルターのろ材、サブストラットプロの効果を最大限に引き出すことができます。なお、サブフィルターを設置することでろ過容量は2倍になりますが、これは単純にメインフィルターを2台設置するよりも、強い水流を嫌うディスカスにとっては有効な方法で、ろ過能力は約2倍というわけです。

ろ過バクテリアに与えるダメージを最小限に抑えることができ、メインフィルターのろ材、サブストラットプロの効果を最大限に引き出すことができます。なお、サブフィルターを設置することでろ過容量は2倍になりますが、これは単純にメインフィルターを2台設置するよりも、強い水流を嫌うディスカスにとっては有効な方法で、ろ過能力は約2倍というわけです。



サブフィルター2213 エーハイムクラシック
フィルター2213

ディスカス水槽【データ】

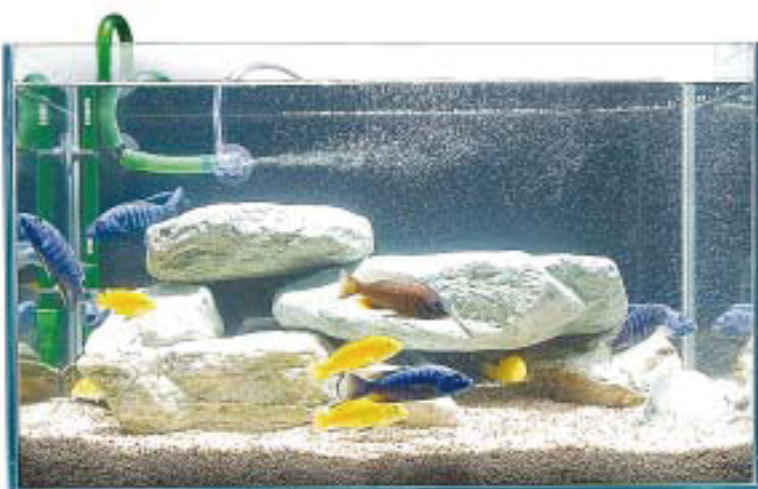
水槽サイズ:60×30×36cm/収容種:レッドスポットターコイズ×3、マルボロレッド×5/水温:30℃
pH:6.3/給餌回数:1日3回(朝昼夜)/餌の種類:ディスカスハンバーグ、赤虫/換水:週1回、全水量の3分の1

弱アルカリ性水を好む アフリカンシクリッドでの使用例

マラウィ湖の水景に思いを馳せ、魚のサイズや生態を考慮し、大きめの石を使い、石と石の間も広めにとって大胆に組み上げました。特に左後景はやや高く積み、右前景はスペースをとり、水景に変化を与えています。底砂、石ともに明るい色味のものを選び、アーリィ、カエルレウスなど色彩鮮やかな種を泳がせ、華やかで明るい感じに仕立てました。フィルターはメイン、サブともに2213を使用しています。サブフィルターには大粒のサンゴ礫を入れていますが、ろ材としての役目の他に、水質調整にも一役かっています。弱アルカリ性の水質をつくるわけですが、サブフィルターにセットしてあるので、洗浄や交換を容易に行うことができます。ところが、これが水槽に入れた底砂だと、使用量の調節が難しく、交換なども大変な作業となり、大切な魚にも大きなストレスを与えてしまうことになります。サブフィルターの設置でろ過能力もアップしているので、サイズの大きな個体を多く入れても十分に飼育できます。なお、ディフューザーからの微細な気泡はろ過バクテリアの活動をより活発にします。

アフリカンシクリッド水槽【データ】

水槽サイズ:60×30×36cm/収容種:アーリィ×7、ラビドクロミス・カエルレウス×5、ボルレイ“カタンゴレッドフィン”×1
水温:26℃/pH:7.8/給餌回数:1日1回(昼) 餌の種類:顆粒状飼料、クリル/換水:週1回、全水量の3分の1



サブフィルター2213 エーハイムクラシック
フィルター2213

エーハイムサブフィルター2213



使用する材早見表

① 活性炭パッド※	② 細目パッド
③ 粗目パッド	④ エーハイメック
⑤ エーハイトーフ(ネット入)	⑥ サブストラットプロ
⑦ サンゴ礫	

※活性炭パッドは2週間を目安に交換、あるいは除去してください。